

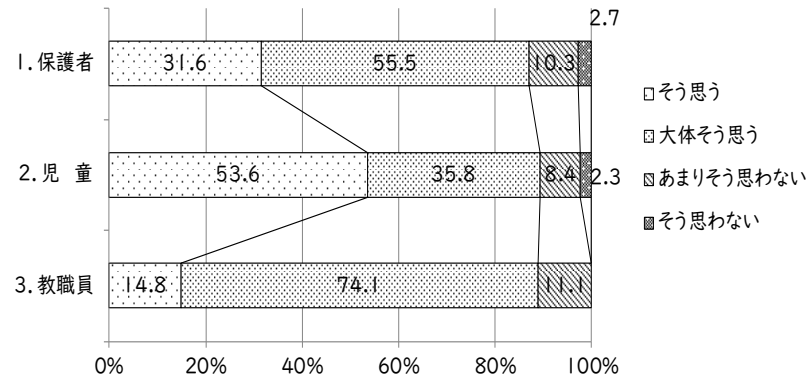
令和3年度 伏見南浜小学校
第1回学校評価
アンケート結果と考察
～学習面～



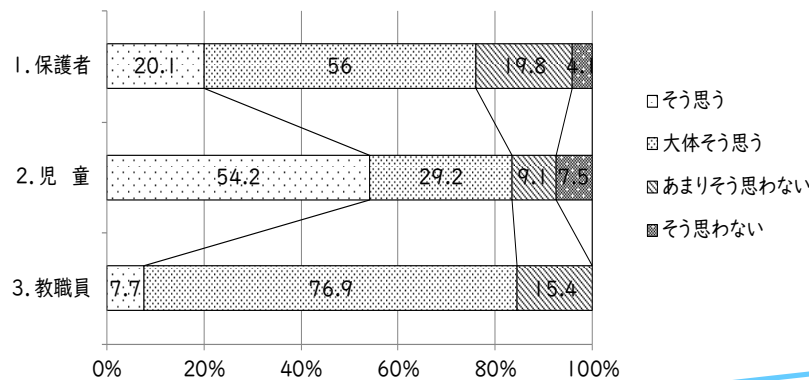
学校評価アンケートは、保護者・児童・教職員の3者が毎日の生活を振り返り、今後への改善につなげるものです。子どもたちの頑張っている姿、そして保護者の方々からの学校に対する期待を十分に受け止め、今後の学校教育活動へと生かし、より良い伏見南浜小学校にしていきたいと考えています。



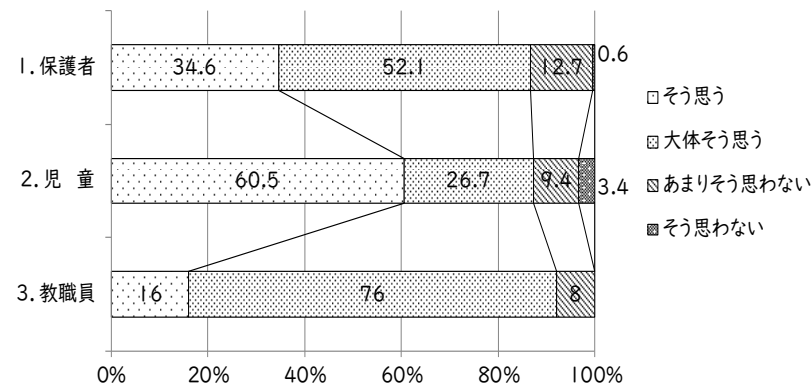
- ⑥1. 我が子には、読む・書く・計算するといった、基礎的・基本的な学力が身についている。
2. けいさんやかんじ(ひらがな・かたかな)のちからが、みについている。
3. 読む・書く・計算するといった基礎的・基本的な学力が身についていると思う。



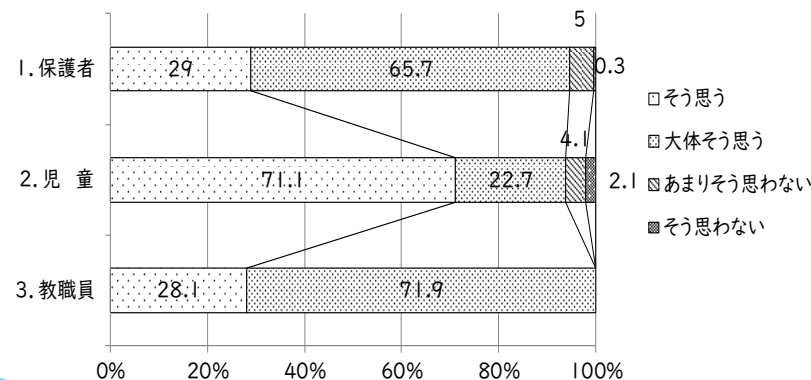
- ⑨1. 本校の学校教育目標を知っている。
2. がっこうのきょういくもくひょうがわかる。
3. 本校の学校教育目標が、子どもや保護者に伝わっていると思う。



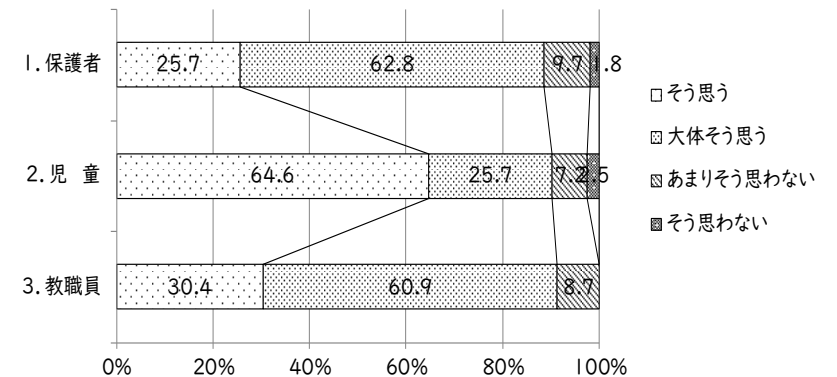
- ⑦1. 我が家では、家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。
2. おうちで、じぶんから、しゅくだいやがくしゅうをしている。
3. 家庭学習の習慣が定着していると思う。



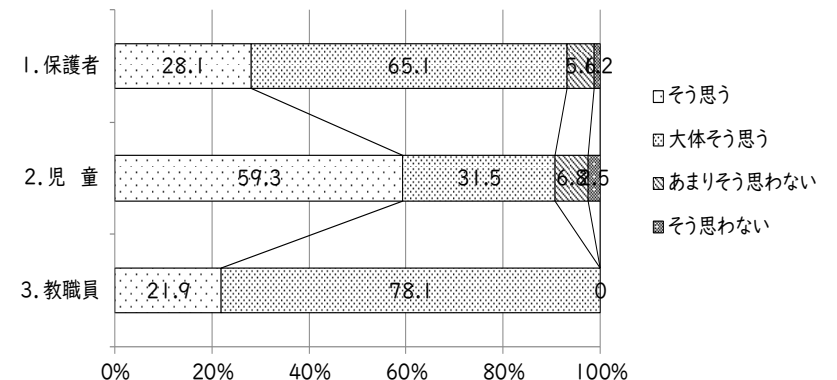
- ⑩1. 学校が「子どもたちの過ごしやすい学校づくり」を進めていると感じる。
2. あんしんして、がっこうですごしている。
3. 子どもたちの過ごしやすい学校になっていると思う。



- ⑧1. 学校・学年・学級だより等のお知らせを丁寧に読んでいる。
2. がっこう・がくねん・がっきゅうのおたよりを、おうちのひとにわたしている。
3. 学校・学年・学級だより等のお知らせを、子どもと丁寧に読んでいる。



- ⑪1. 学校が「子どもたちの力がつく学校づくり」を進めていると感じる。
2. がっこうでがくしゅうしたことをとおして、じぶんがせいちょうしたとわかる。
3. 子どもたちの力がつく学校になっていると思う。



2. 学習面

- ⑥「基礎的・基本的な学力が身についているかどうか」の回答については、「そう思う」について、保護者・児童・教職員の捉え方の差が見られました。約53.6%の子どもたちが「そう思う」と回答していましたが、それに対して、教職員の「そう思う」は、約14.8%でした。これは、子どもたちへ確実に基礎学力を定着させたいという教職員の願いが表れていると考えられます。本校の目指す資質・能力の一つ「基礎力」です。今後も、子どもたちの基礎的・基本的な学力の向上を目指し、授業改善や補充学習の充実を図り、子どもたちの学力向上へと取り組んでいきたいと思ひます。
- ⑦「家庭学習」についても、3者の捉え方について、⑥と似たような回答が得られました。保護者の数値について「そう思う」が約7%の増加が見られました。家庭学習について子どもたちの頑張っている姿の評価が見られます。それに対して教職員の「そう思う」の数値が約16%であったのは、子どもたちが自学自習する力をめざして取組を行っていることの表れではないかと思ひます。
- ⑧「お便り」については、保護者の「あまりそう思わない」が約6%減少しました。また、教職員も「そう思う」が約10%増加しました。学校ホームページも含めて、更に分かりやすく学校の様子を発信していきたいと思ひます。
- ⑨「本校の学校教育目標」について、3者の捉え方の差が見られました。「そう思う」が教職員約8%と表れたのは、教職員から本校の教育目標を意識した発信をしていくことの必要性を感じます。
- ⑩「子どもたちの過ごしやすい学校づくり」については、「そう思う」数値が保護者、教職員共に児童数値と比べて低い数値が見られます。学校教育活動全体を通して、全ての子どもたちにとって安心できる学校づくりを目指していきたいと思ひます。
- ⑪「子どもたちの力がつく学校づくり」について、他項目の内容と同じような回答が得られました。「そう思う」と回答する児童、また、保護者が増加するよう、今後子どもたちの学力向上を意識した学習指導を心がけていきたいと思ひます。

